

◆ 防府市立野島小中学校

実施日時：平成 30 年 9 月 26 日(水) 14 時 20 分～15 時 10 分

会場：防府市立野島小中学校（図書室）

対象：防府市立野島小学生 3、4 年生（3 名）、中学生 2、3 年生（5 名）

2 班（各 4 人）

ファシリテーター：佐々木教諭

命守会スタッフ：（气象台）江崎、林田（日赤）本田

I. レクチャー：ファシリテーターが、大雨による災害と气象台から発表される防災情報について説明を行った。



II. グループワーク：グループ毎に異なった条件（住居・家族構成）設定の下、大雨災害時における各ステージでどのような行動を取るのか話し合った。



III. まとめ・発表：グループワークでの話し合いをまとめて、グループ毎に発表し、ファシリテーターが各班の発表にコメントした。



■ワークショップ（以下、WS）実施前および実施後に濱本校長、佐々木教諭と懇談を行なった、

○WS 実施前（主に WS の流れについて確認、以下はその他）

- ・避難訓練をはじめとする防災授業の一環として捉えている。（濱本校長）
- ・今回は小学生 3 名、中学生 5 名の合同で行うため、グループワークで意見が出るか心配である。（濱本校長）
- ・（マニュアル内で使用している写真がおよぼす子供たちへの影響について）本校には右田地区の児童・生徒はいないので大丈夫と考える。（濱本校長）
- ・大雨防災も重要だが、島であることから、次は台風などによる高潮や地震津波の防災についても考えなければならない。（濱本校長）
- ・持参した 11 月 1 日の緊急地震速報訓練の紹介およびパンフレット「津波防災」を渡した（江崎）

○WS 実施後

- ・50 分では、やはり時間が足りず、発表はしてもらいたいと考えたため、オーバーしてしまった。90 分でやった方が良かった（佐々木教諭）
- ・今回の大雨防災 WS を自分のスキルとし、今後の勤務先でも実施したい（佐々木教諭）
- ・小学生と中学生合同での WS は難しいと感じた（濱本校長）
- ・レクチャー時に動画映像があることで引き付けられた（濱本校長）
- ・専門家が制作したマニュアルがあるため非常に助かる。誰が実施してもぶれずに同じ内容でできるため、担任によって差が出なくて良いと感じた（濱本校長）
- ・そのほかの分野についても専門家が制作したマニュアルがあれば参考にして、ワークショップを実施していきたい（濱本校長）
- ・2 班ともグループワーク内で出た意見を良くまとめ上げて発表していた（林田）
- ・本校では週一回のペースで題材を決めフリートークを行っており、今回、グループワークや発表で活かされた（濱本校長）

■所感

学校全児童生徒あわせて 8 名の小中学校で開催された小さな WS であったが、非常に盛り上がった。

レクチャー内の災害を紹介する映像では、児童生徒の喚声が上がり WS に対する興味を引き付けた様であった。リーダーをはじめとする中学生の生徒たちが、小学生の児童が飽きないよう、意見を引き出そうとしており賑やかなグループワークとなった。

またリーダー兼発表者の生徒はグループワーク内で出された意見をまとめ上げ、簡潔にわかり易く発表していた。

今回ファシリテーターを務めていただいた佐々木教諭から、大雨防災ワークショップを自分のスキルとし今後も実践していきたいとの一言を頂いた事は、非常に有意義な大雨防災ワークショップであったと考える。